



## No. 2814

2016-2017年度

会長 松村 秀一

幹事 橋爪 誠治

R広報委員長 上野山栄作



担当：嶋田(崇)委員

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30  
 例会場 紀州有田商工会議所6F  
 〒649-0304  
 有田市箕島33-1  
 紀州有田商工会議所2F  
 有田ロータリークラブ  
 Tel (0737) 82-3128  
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日  
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
 e-mail [office@aridarc.jp](mailto:office@aridarc.jp)

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

## Rotary



人類に  
奉仕する  
ロータリー

～有田ロータリークラブ目標～

親睦を深め

ロータリーライフを楽しもう



### 次回のお知らせ

平成29年2月16日 第2816回

- ・外部卓話：大江 隆之 氏  
「生かされ生きる」
- ・ソング：「それでこそロータリー」

### 本日のプログラム

平成29年2月9日 第2815回

- ・ローテーションデー 於) 箕嶋神社  
岩本 道弘 君 「神道について」
- ・ソング：「我らの生業」

### 前回の報告 (第2814例会)

開催日 平成29年2月2日(木)

点 鐘 (松村会長)

今月の誕生・結婚祝 (井上親睦活動委員長)

会員誕生：松村君、橋爪(正)君

配偶者誕生：橋爪千恵さん、橋爪美智代さん

結婚記念：なし



### 2月のお誕生日

(左から)  
橋爪(正)君、松村君です。  
お誕生日おめでと  
うございます。

### 会長の時間 (松村会長)

30年ほど前に自宅の横に塀を作りました。コンクリートブロックを2段積んだ上にアルミのフェンスをつけたもので長さ10m余、高さ1m。工事期間は4日ほどでした。この塀は隣の家の敷地との境界線の内側に立てました。

世の中には国と国の境界に塀を造ることもあります。私の家の塀とは規模が大きく違います。かつてベルリンの壁がありました。シナイ半島のイスラエルとエジプトとの国境の一部にも壁が作られました。アメリカ合衆国とメキシコとの国境に造る場合その国境線の長さは3千キロあまりです。3千キロ余りと言いますと関空からベトナムのハノイまでの直線距離とほぼ同じです。

アメリカ合衆国とメキシコ国境と聞くと砂漠を思い浮かべ

ますが実際は半分以上が川であります。カルフォルニア湾に注ぐコロラド川とメキシコ湾へ流れているリオグランデ川です。残りの部分も大半が山岳地帯のようです。工事費用は概算で2兆円という話も聞きます。実際には、建設費の面でも、土地の権利関係においても、環境保護の観点でも現実的ではありません。しかしこの話は選挙民の心をしっかり捉えたでしょう。「その費用はメキシコに払わせる！」の下りでトランプ氏の支持者は大いに盛り上がったことでしょう。こういった「自国第一主義」「排外主義」に基づく政策は紛争の臭いがする話です。

かつて日本でも同じような話がありました。実に平和な感じ。若き日の田中角栄が地元・新潟で演説しました。山脈を削って豪雪をなくすと語りました。新潟と群馬の境にある三国峠を切り崩してしまえば「季節風は太平洋側に抜けて、越後に雪は降らなくなる。みんなが大雪に苦しむことはなくなるのであります！」。トランプ氏よりも非現実的な話ですが、雪に悩む人たちの気持ちをガッチリ掴んだそうです。

### 幹事報告 (橋爪(誠)幹事)

○地区より

1. 2月のロータリーレート 1ドル=116円
2. 2017-18年度 RIテーマ発表 「ロータリー：変化をもたらす」
3. 2019-20年度 ガバナー候補者推薦書提出のお願い
4. 識字率向上運動協賛のお願い
5. クラブ青少年交換委員長会議のご案内
6. 2016-17年度 海外研修報告会のご案内

○米山記念奨学会への普通寄付・特別寄付金、ロータリー日本財団への特別寄付金の確定申告用の領収書を配布。共に、領収書は再発行できませんのでお気を付け下さい。

○和歌山特報・有田タイムス「文成中学校文化交流の

董濤君の記事」(掲示)  
○他クラブ例会変更 (掲示)

### 委員会報告

- \* 職業奉仕委員会(成川(雅)委員長)  
2/9(木) ローテーションデーの案内について  
・12:30～13:00 食事、会長の時間、報告等(紀州有田商工会議所6F)  
・13:00～岩本君の卓話(箕嶋神社)
- \* 社会青少年奉仕委員会(脇村委員長)  
保田中学校での職業紹介事業について(1年生が対象)  
・2/9(木) 14:30～15:20 成川守彦君(介護施設、25分間)、江川真史君(手袋製造、25分間)  
・2/16(木)14:30～15:20 橋爪誠治君(損保代理店、25分間)、上野山捷身君(郵便事業、25分間)
- \* 会長エレクト(成川(守)君)  
国際ロータリー第2640地区 岡本 浩ガバナーエレクトから報告がありました。  
2017-2018年度 RIテーマが発表されました。  
・2017-18年度会長 イアン・ライズリー氏(オーストラリア サンドリンガム・ロータリークラブ所属)  
・テーマ「ロータリー:変化をもたらす」  
・持続可能な奉仕というロータリーの目標にとって、環境保護と温暖化抑止が極めて重要である  
・主な活動目標  
① 各クラブは会員数と同じ数の植樹の実施→環境保全  
② 女性会員の入会を推進  
③ 若い会員の入会を推進

1月16日(月)、米国サンディエゴで開催中のロータリー国際協議会で国際ロータリー会長エレクト、イアン H.S. ライズリー氏(オーストラリア、サンドリンガム・ロータリークラブ所属)が講演し、持続可能な奉仕というロータリーの目標にとって、環境保護と温暖化抑止が極めて重要であると訴えました。

次期地区ガバナーに向けて講演したライズリー氏は、2017-18年度の会長テーマ「ロータリー:変化をもたらす」を発表しました。



環境の悪化と世界的な気候変動は全人類への脅威であると、ライズリー氏は述べます。「影響を最も受けやすいのは弱い立場にある人たちであり、そのような人たちこそ、ロータリーが助けていく必要があるのです。それにもかかわらず、環境問題がロータリーで議題に上がることはほとんどありません」

環境悪化は、国連の「脅威、挑戦および変革に関するハイレベル・パネル」によっても主な脅威のひとつとされています。

ライズリー会長エレクトは次のように続けます。「環境の持続可能性がロータリーの懸念分野ではないと言えたのは、昔の話です。今や、環境問題はあらゆる人にとって懸念すべきことです」

会長エレクトはさらに、7月1日の新年度開始から2018年4月22日の「アースデイ」までの期間に、各クラブで会員数と同じ数の植樹をするよう呼びかけました。木を植えることで、空気中から二酸化炭素やそのほかの温室化ガスを除去し、地球温暖化のスピードを和らげる効果があります。「この取り組みで120万本の新しい樹木が植えられ、環境への良い影響があるでしょう。しかし、それよりもっと大きな影響があると願っています」と会長エレクト。「それは、この取り組みを通じて、この地球に住む人だけでなく、地球そのものを救う責任がロータリーにはあると、私たちが気づくことです」

### ロータリーの未来を守る

ライズリー会長エレクトはさらに、2017-18年度地区ガバナーに向け、クラブ会員の男女のバランスを改善し、平均年齢を下げるよう求めました。ロータリーにおける女性会員の割合は、10年前の13パーセントよりは増えたものの、現在も全体の22パーセントにすぎません。このペースだとロータリーが男女均等を実現するまでにあと30年かかると、ライズリー氏は述べます。

私たちの住む世界を反映したロータリーを実現するために、30年も待ってられません。今、これに優先して取りかかる必要があります」539名の次期ガバナーのうち103名が女性であることに触れた上で、会長エレクトは「地域社会のすべての人とならがり、すべての人を代表し、支援するためにリーダーシップを発揮できる」女性をロータリーが必要としていると述べました。さらに、現会員のうち40歳未満はわずか5%であり、会員の大半が60歳以上であることにも触れ、若い世代の入会と参加を促す方法をクラブが模索する重要性を訴えました。「若い会員の入会促進に真剣に取り組まなければ、10年後、20年後にロータリーがどうなっているかを想像してみてください」

会長エレクトはさらに、クラブが独自の決定に基づいて活動できると述べた上で、ロータリーの発展と将来を守っていくには、世界的なチームワークが必要であると力説しました。「一人ではできないことも力を合わせれば実現できると、私たちは知っています。(中略)このチームワークと協力の精神を忘れずに、地区に戻って実践してください」

### 出席報告 (嶋田(ひ)例会運営委員)

本日の会員数26名  
(出席規定免除会員8名)  
出席会員数23名  
(出席規定免除会員8名)  
88. 46%  
1/19 96. 15%  
MU:成川(守)君

ニコニコ箱の報告 (上野山(捷)SAA)

松村君: 児島様、卓話楽しみにしています。最新のパソコンとプロジェクターだそうですね。

橋爪(誠)君: 児島良宗さん、本日の卓話楽しみに待っておりました。卓話にかける熱意、勉強になりました。よろしくお願ひいたします。

児島君: 卓話させていただきます。

酒井君: 児島さん、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

上野山(栄)君: 児島さん、本日卓話で勉強させていただきます。

應地君: 児島さん、卓話を楽しみにしています。

嶋田(崇)君: 児島さん、卓話ご苦勞様です。

成川(守)君: 児島院主さま、卓話楽しみです。次年度RIテーマが発表されました。そろそろ準備に入ります。みな様よろしくお願ひ申し上げます。

川口君: 児島さん、本日の卓話、宜しくお願ひ致します。

井上君: 児島さん、今日は楽しみです。

岩橋君: 児島さん、卓話楽しみです。

脇村君: 児島さんのお話は、いつも楽しみです。よろしくお願ひします。

宮井君: 児島さん、卓話おつかれさまです。本日、欠席させていただきます。

嶋田(ひ)君: 児島様、卓話楽しみにしています。勉強させていただきます。

橋爪(正)君: 児島様、良きテーマの卓話、期待し楽しみです。

中村君: 児島さん、卓話楽しみにしていました。よろしくお願ひ致します。

上野山(英)君: 児島さん、本日卓話楽しみです。

石垣君: 児島様、卓話楽しみにしています。

中元君: 児島さん、本日の卓話たのしみです。

江川君: 児島さん、卓話聞かせていただくの初めてです。楽しみに聞かせていただきます。

橋本君: 児島さん、卓話よろしくお願ひします。

上野山(捷)君: 児島良宗様、本日の卓話楽しみにしています。

孫の代まで残したい言葉

1. いただきます
2. 暑さ寒さも彼岸まで
3. 覆水盆に返らず

残したい昔からの教え

1. 親しき中にも礼儀あり
2. 遠くの親戚より近くの他人
3. 苦勞は買ってでもしろ

出版社「宣伝会議」の調査資料ですが、何れも納得です。

私流では、「次代に残したい言葉」は、

1. ありがとう
2. おかげさま
3. 勿体ない

京都 大橋山六道珍皇寺に今に残るお盆の習慣があります。人の世の無常と儚さを感じ、日本独特のお盆供養や踊りの風習が出来ました。故人を偲び、生前に、「もっと大事に・・・もっと温かい言葉を・・・」と恥じる心が生じます。これに仏の教えが重なり葬儀や法事が習慣となったのでしょうか。これら仏事の発生は江戸中期以降説が有力です。

私達の考えは二通りです。一つは、「価値を計量する」、そしてもう一つは「価値とは無縁・意味を感得する」。そこから、「ご飯を頂く」という言う言葉(日本伝統の精神文化)が生まれ、目に見えない「有難い」を実感しつつ「お蔭様」を味わうのでしょうか。

2002年、京都島津製作所の田中耕一さんがノーベル化学賞を授賞しました。これは捨てずに置いた不要薬品が化学変化を起こし偉大な発見に繋がりました。田中さんは、『幼い頃から私を育ててくれた祖母が何時も口癖のように、「勿体ない」と言い、物の生命の尊さを教えてくれた。今回の私の発見は、祖母が教えてくれた「勿体ない」の生き方のお蔭です。』と語っています。

金さえ出せば何でも叶えられる時代、「薄れゆく日本の心・言葉」を大切に、恵まれた命の尊さを味わいたいものです。

二度とない人生です。

卓話

「次代に伝えたい 日本の心・言葉」



会員  
児島 良宗 君

閉会・点鐘 (松村会長)

2月23日(木)は  
夜間例会&ロータリーカレッジです  
(於: 橋家)

☆夜間例会: 18:00~18:30

☆ロータリーカレッジ: 18:35~19:35

講師: 第2550地区PDG 鈴木 宏 氏(宇都宮北RC)

講演: 「1905年2月23日夕刻のお話」

「わたしのロータリー」

※講演後、懇親会を開催